



# JAL不当解雇撤回ニュース

No429号 2015.02.16  
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局  
連絡先: 航空労組連絡会事務局  
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4  
フェニックスビル内  
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819  
<http://www.jalkaikotekkai.com>

## 日航に不当解雇撤回・自主解決を迫る

日航は不当解雇撤回し解雇された 165 名の職場復帰で自主解決をはかれ！ 2 月 12 日、最高裁の不当決定後初の日航本社前宣伝・要請行動を実施。日航に、「最高裁の不当決定を跳ね返し解雇撤回まで闘う決意」を示し、争議の早期・自主解決を迫りました。



【写真】横断幕を掲げ闘う決意を示す原告。マイクを手にしているのは、たたかひの決意を述べる JAL 不当解雇撤回国民共闘の共同代表、糸谷欽一郎全国港湾委員長(2月12日、日航本社前にて)

## 植木社長! 本社前行動は解雇を撤回しない限り続きます!

最高裁の不当決定後初の本社前行動には約 80 名が参加。最高裁の不当決定を糾弾し、日航に解雇撤回・争議の早期解決を迫る訴えが続きました。

共同代表・全国港湾糸谷委員長、全労連井上事務局長、全国一般東京南部の柿本さん、東京国公の植松事務局長、国労東海本部の上野書記長、中部共闘・中部全労協の坂本さん、そして、客乗原告の徳田さん、パイロット原告の清田さんがマイクを手に、闘う決意を表明し、日航に解決を迫りました。

糸谷全国港湾委員長は、不当解雇撤回・争議の全面解決まで、日航本社前も街頭宣伝も続けると強調。井上全労連事務局長は、パイロット不足等の実態を上げ、日航の発展のためにも解雇者を復職させ、争議の早期解決をはかるべきであると強調しました。



【写真】訴える全労連井上事務局長



【写真】左は中部全労協坂本さん、右は国労東海上野書記長

原告の徳田さんは、新人が多くを占めベテラン層が不足する中で安全やサービスが低下しても、不当解雇した原告を誰一人戻していない。そればかりかまともな話し合いにも応じていない。これは安全を犠牲にしてでも組合つぶしをするという、航空会社として許されない安全軽視の姿勢だと批判。パイロット原告の清田さんは「勤務がきつい」「疲れた」と、現役パイロットが稼働強化の中で厳しい職場状態を訴えていることを紹介し、人員不足を解決し安全運航を確かなものにするために、今こそ解雇した 165 名を職場に戻すべきであると強調しました。